

宮竹少剣

第100号



平成19年10月10日発行

宮竹少年剣道クラブ育成会

「宮竹少剣」第100号の発刊に寄せて

名誉会長 合瀬藤雄



昭和45年宮竹少年剣道クラブが創設され、今年で37年になりますが早いものですね。

「宮竹少剣」第1号が発刊されたのは昭和48年4月25日でした。初代育成会会長 石田光昭先生（宮竹小学校正門前在住）、副会長 堀川一雄氏（埼玉県越谷市在住）を始め指導部、育成会役員、保護者の皆様の協力により発刊されました。当時のガリ版刷りが今も思い出されます。

第99号までの紙面には、それぞれの年代により励ましや、感想、剣道に関する質問、また卒業生からは高校、大学での近況報告、レクリエーション、昇級、昇段、対外試合の結果等、紙面によるクラブの教育的指導と啓蒙に大変役立っておりますが、編集をして頂く方には大変だろうなと思っています。

私事で恐縮ですが宮竹少剣の師範として参画したのは、昭和45年剣道七段受領を期に、私をご指導頂いた先達の師、先輩、剣友に対する恩報事と心に決め、宮竹少剣との出会いが始まり今日まで続いております。初代師範としての21年間、私を陰より支えて頂いた亀井、大隈、【故】赤司（二代目師範）先生他歴代の役員の皆様から勇気とやる気を与えて貰ったと今も感謝しています。

昭和45年と申しますと、私は脱サラして会社を立ち上げて2年目でした。今だから白状しますが子ども2人が大学生の、長男が卒業するまでの2～3年間は心が揺れた時期もありましたが、今では82年の私の人生の一駒として思い出深いスタートの5年間でありました。この5年間で私の人生観が変わり現在の私がある様な気がします。

私の剣道の師「北辰館剣道道場」館長 三角卯三郎範士九段の教えは、「生活即剣道だよ」と。「生活（仕事、家族）がうまく行かず正しい剣道（稽古、指導）は出来ない。」の教えを私は今でも忠実に守っています。指導する中で学生は勉強、社会に出ると仕事が一番、剣道は二番目と教えています。

多忙の中から余暇を自分で作り密度の高い稽古を積むのが大事、継続は力なり。奉仕は人生を豊かにし、明日への活力を生む。（奉仕には大・小、多・少は無い。心の奉仕もある）

宮竹少剣との出会いから37年、いろいろと沢山の思い出があります。保護者との交流、子ども達の汗と涙と笑顔が今でも臉に浮かびます。私の人生の82年のうちの37年間、今は「宮竹少剣」に有り難う。そして頑張れ。

「我が人生に悔い無し」私は生涯剣道を目指して老体に鞭打って、まだ上に挑戦しています。

先般（6月4日）日本武道館で（元）副会長の堀川一雄氏とお会いする事ができ、宮竹少剣時代の話から、家族、子ども、孫の話とホテルのレストランの閉店時間までなごりがつきませんでした。後日双子の息子さんのおひとり、勝央さんより近況報告の便りが届きましたのでご披露します。



次に、合瀬先生に堀川勝央様（宮竹少年剣道クラブOB）より届きましたお手紙を、記載させて頂きました。



拝啓

長い間ご無沙汰をしておりまして、大変失礼しております。

先日は、合瀬先生の剣道のご様子をDVDにて拝見させて頂きますと共に、地元明太子も頂戴致しましたこと、心から感謝申し上げます。

特に、合瀬先生の剣道を拝見するに至っては、お元気そうなお姿と風格ある剣道を拝見させて頂き、一瞬足りとも目を離さず食い入るように拝見させて頂きました。現在の自分と照らし合わせ、私の剣道の源を確認する思いと今更ながら良い師匠にめぐり会えたという深い感謝の思いを廻らせながら、拝見させて頂きました。今の自分があるのも合瀬先生を始めとする宮竹少年剣道クラブのお陰と改めて感謝申し上げます。

と申しますのも、私は現在、東京消防庁に勤務しておりますが、3年間の民間企業勤務の後、入庁できたのもある意味剣道をしていたお陰でもあり、また、入庁以来東京消防庁の勤務の一環として剣道を続けており、職務にも直接生かされ、現在に至っております。剣道をする機会は以前に比べて減っておりますが、それでも東京消防庁の剣道大会等では審判を依頼されるなど、剣道とは切っても切れない関係となっております。

さらには、現在3人の子どもがおりますが、何れも親の血を引いてか(いやいやながらか?) 地元の剣道教室で剣道をしており、合瀬先生から教わった剣道が2代に引き継がれております。また、私もその道場から頼まれ少しでもお手伝いが出来ればと思い、週1回ですが子ども達に剣道を指導しており、教える難しさもひしひしと感じているところです。

さて、家族の近況ですが、長男 裕輝はこの春、中学受験を致しまして法政大学第2中学校に通学しており、中学校でも剣道部に入部して頑張っています。法政第2中学校は私の母校でもある法政大学第2高等学校の附属中学で、私と全く同じ進路を歩み始めております。「蛙の子は蛙」と言ったところでしょうか。

長女 瑞季は小学校4年生で、小学校ではおとなしいらしいのですが、普段の生活は非常に活発で剣道、体操、合唱団といろいろな習い事もしており、男勝りな強気の性格の子どもに育っております。それでも時折、女の子だなど思わせる部分も出始め、父親を嫌う思春期も近い将来かと親としては少し寂しい思いもさせられます。

次男 夏希は今年4月に瑞季と同じ小学校に入学し、小学校に行くのが嬉しくてしょうがないらしく、毎日元気に通っております。

家内は長男の毎日の弁当作り、次男の小学校の送り迎えなど新年度に入り益々忙しくなっておりますが、元気に家庭を守ってくれています。

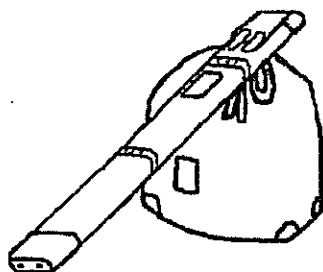
以上、大変ご無沙汰しておりましたので、筆を進めるうち子どもの状況などあれこれと書いてしまいましたが、同封いたしました写真を含め御礼と近況のご報告とさせていただきます。

機会を見つけ是非一度佐賀、福岡の旅をして剣道のご指導を頂ければと深く思いをめぐらせながらも、現在の忙しさに感けておりますこと、お許し頂ければと思います。

ご家族皆様方の益々のご多幸とご健康をお祈り申し上げ、御礼とさせていただきます。

敬具

平成19年7月18日



堀川勝央(様)

追 憶

「宮竹少剣」第100号の発刊に寄せて

相談役 亀井 巖

宮竹少年剣道クラブが創立して37年、同時に歩き出した「宮竹少剣」の機関紙も記念すべき第100号の発刊になりました。

この間、ある時は発刊が忘れられそうになったり、また、まさに途絶えようとする危機もありましたがその都度、編集担当者に鼓舞激励を続け、創刊号から深い関わりと愛着を持ち続けてこられた大隈さんの誠意とご苦勞が偲ばれます。

この貴重な記念の第100号が宮竹少年剣道クラブの歴史に大輪の花を添えることになり感慨も一入でございます。

歴史は単に月日の経過だけで出来るものではありません。そこには、たゆまぬ努力と苦勞の結晶が輝かしい歴史を形成するものだと思います。

想えば永い37年の間には様々のエピソードや苦勞は語り尽くせぬ程あります。一時は100名を越える少年剣士達が、指導者不足にも拘らず剣道に取り組む情熱や、真剣な稽古振りは言語につくせぬすばらしいものがありました。

しかし現代っ子にはいい面もある反面、精神面の弱さや忍耐力が欠落しているようにも感じます。

私たちの「ガキ」の頃は冬、火鉢のそばに居ようものなら「子どもは風の子」と言って風の中に放り出され、「鉄は熱いうちに打て」と言って鍛えられ、「若い時の苦勞は買ってでもせよ」と辛い仕事を押し付けられました。その上「艱難汝(カンナンナンジ)を玉にする」即ち「苦勞するのはお前のためだぞ」と恩まで着せられました。

私たちはそれが人生の真実だと信じ耐え忍んできました。しかし現在のようにな物が豊かになるに従って、子どもたちの中には「堪え性」がだんだん希薄になり、剣道の錬成は自分のためだと言う意識が欠如し、精神的にも脆弱(※注意 ゼイジャク もろくて弱いこと)になってきているように感じます。まさに一昔前とは隔世の感があります。

宮竹少剣のこの伝統のあるクラブで剣道を通して、せめて「我慢強い子」に育ってくれることを、第100号記念に寄せて切に希望致します。

思い出

「宮竹少剣」第100号の発刊に寄せて

OB代表 指導部 塚原 剛

宮竹少年剣道クラブで、小学校3年生から父親に連れられ剣道を始めて35年になります。

小学生・中学生の時の試合、昇級審査、昇段審査、レクリエーションなどが思い出されます。その中でも合瀬先生の掛かり稽古が一番厳しく辛かった事と思います。OBの誰もが涙したことでしょう。長い時は30分以上、短い時は2回、3回と掛かり汗を流した事を思い出します。

その汗と涙を流した掛かり稽古が今では力となり、身についていることでしょう。

合瀬先生の教え子たちが各地で剣道の指導者として活躍しています。宮竹少年剣道クラブの指導者にも何人もいて中でも、石村先生は育成会会長としても力を発揮されています。今後ともよろしくお願い致します。

私はたまにしか顔を出せませんが、これからも宮竹少年剣道クラブが40周年、50周年にむけて発展するよう応援致します。



お礼の言葉

育成会会長 石村 和生

「宮竹少剣」第100号の発刊に寄せて、快く寄稿をして下さいました合瀬先生、亀井先生、堀川様、塚原先生に厚く御礼を申し上げます。

第100号発刊にあたり、第1号より拝見致しました。宮竹少年剣道クラブのその時代、時代が凝縮されて詰まっております。石田先生や大隈先生のご苦労と、記念すべき第100号にまで継続をして下さいました事に、深く感謝を申し上げます。

OBのひとりと致しましても、こうして保護者の皆様がお互いの意志の疎通を図り、情報を共有し、子ども達の健全な育成を願いながら次代へと引き継いでいただいていた事を、誇りに思っております。

また、その「重み」をしっかりと受け止めた育成会会長でありますよう努力をしてまいります。よろしくご協力をお願い致します。

※平成19年度宮竹少年剣道クラブ育成会定例総会開催

平成19年5月13日(日) 指導部15名、保護者全員参加で宮竹小学校体育館で行われました。石村会長のあいさつで始まり、

- 1) 平成18年度行事経過報告・決算報告・監査報告
- 2) 平成19年度役員改選
- 3) 平成19年度行事予定・予算
- 4) 慶弔見舞金規定について

以上の件について審議され、承認されました。また、以前より定例会において発案され検討をしておりました「慶弔見舞金規定」は、承認されましたので総会開催当日(H19.5.13)より適用されます。

新役員名簿・会員名簿・慶弔見舞金規定は、総会時に配布しております。

◇第58回宮竹少剣級別試合

平成19年5月13日(日)宮竹小学校体育館で定例総会に先立ち開催されました。なお、各級の人数の都合で3部門に分かれて試合をしております。ご了承ください。入賞者は下記のとおりです。

【中学生の部】 優勝 石村百梨 準優勝 井手敏貴

【小学生高学年の部】 優勝 吉野 徹 準優勝 島田竜齊

【小学生低学年の部】 優勝 石村千夏 準優勝 安部浩気

各優勝者にはトロフィーと賞状・副賞が、また準優勝者には賞状と副賞が石村会長より手渡されました。

会員全員に参加賞として図書カードが渡されました。

◇平成18年度の皆勤賞・精勤賞の表彰

平成18年度中の稽古日は83日でした。残念ながら皆勤賞の該当者はありませんでした。精勤賞は下記4名です。

【精勤賞】 81日 島田竜齊 島田大嘉

80日 安部浩気

79日 吉野 徹

1年を通じての精勤はなかなか難しい事でしょう。本人の頑張りはもちろんの事、ご家庭でお子様の健康に留意され、学校行事や習い事、私的な用事をやりくりされた結果ではないかと思えます。4名にはその努力を賞し、図書カードが贈られました。

✿昇級・昇段審査の結果報告

◇宮竹少剣平成18年度後期昇級審査会

平成18年10月18日(水)宮竹小学校体育館で昇級審査が行われ、下記2名が合格しました。

【5級】 林 将輝 【7級】 安部浩気

審査の先生は赤司先生・島田先生・金城先生・吉次先生の4名でした。
立会いは友安先生でした。

◇剣道段位審査会(高三・四・五段)

平成19年2月11日(祭・日)福岡剣連による審査会が、福岡武道館で行われ、徳永隆浩先生が五段に合格されました。

◇剣道段位審査会(初段～三段)

平成19年2月11日(祭・日)福岡剣連による審査会が、九電記念体育館で行われ、井手敏貴君(中学2年生)が初段に合格しました。

◇福岡市南区春季昇級審査会

平成19年4月28日(土)南区体育館で行われ、16名全員合格しました。

【1級】 石村百梨 平松もも 堀 悠希

【1級認定】 森 浩史 小向得早紀

【2級】 小河萌夏 吉野 徹 島田竜齊

大石将生 大石勇生

【3級】 白木英吉

【4級】 石村千夏 伊崎寛人 片山 健

島田大嘉 林 将輝

◇宮竹少剣平成19年度前期昇級審査会

平成19年6月3日(日)宮竹小学校体育館で昇級審査会が行われ、下記1名が合格しました。

【6級】 安部 浩気

審査の先生は、松谷師範・島田先生・金城先生・小町先生・吉次先生の5名でした。立会いは、徳永先生でした。

◇剣道段位審査会(七段)

平成19年5月19日(土)全剣連による審査会が、名古屋市で行われ、清水恵一郎先生が七段に合格されました。

◇剣道段位審査会(高三・四・五段)

平成19年8月12日(日)福岡剣連による審査会が、九電記念体育館で行われ、北村達哉先生が五段に合格されました。

◇剣道段位審査会(初段～三段)

H19年8月19日(日)福岡剣連による審査会が、九電記念体育館で行われ、下記3名が合格しました。

【二段】 佐々木大成(中学3年生)

【初段】 長里紗世子(中学2年生) 吉野優紀(中学2年生)

✿対外試合の結果報告

◇第54回福岡市剣道祭

平成18年9月17日福岡市民体育館で開催されました。

男子防具組が参加。3回戦4回戦と勝ち進み各々が精一杯頑張りました。

指導部からは、北村先生が一般四段～五段の部で参加されました。

当日、台風が午後8時過ぎ福岡急接近の悪天候で心配されましたが、無事帰宅し引率の保護者もほっとしました。

◇第34回福岡市南区剣道祭

平成18年9月23日(土・祝)福岡市南区体育館で開催されました。

防具組とOBの古賀君、指導部からは北村先生、吉次先生が参加して健闘しました。

上位入賞者は下記の通りです。

【小学生男子3・4年の部】 三位 白木英吉

【小学生女子5・6年の部】 準優勝 小向得早紀

三位 平松もも 堀 悠希

【中学生女子の部】 三位 吉野優紀

会場の係員として吉野さん・大石さん・堀さん・松村さん・小河さんの5名のお母さん方が参加して下さいました。お疲れ様でした。

◇第86回福岡県護国神社秋季奉納少年剣道大会

平成18年10月9日(月・祝)護国神社境内で開催され、小学生の部が参加しました。選手と試合結果は下記の通りです。

【先鋒】小河萌夏【次鋒】島田竜齊【中堅】小向得早紀
【副将】堀 悠希【大将】石村百梨

1回戦 原少年剣道同好会と対戦 1勝2敗2引き分けで敗退

◇第7回福岡県女子剣友会剣道大会

平成18年10月21日(土)九電記念体育館で開催されました。今年度より剣道形に全選手出場し好成績を残しました。各試合結果は下記の通りです。

【剣道形・低学年の部】 優勝 石村千夏
【個人戦・小学生3年の部】 準優勝 石村千夏

団体の部では下記選手が出場しました。

【先鋒】石村千夏【中堅】石村百梨【大将】平松岬

1回戦 大野中央剣道クラブと対戦 2敗1引き分けで敗退

◇第17回九州産業大学学長旗少年剣道大会

平成18年11月5日(日)九産大体育館で開催され、下記選手が出場しました。

【先鋒】白木英吉【次鋒】片山 健【五将】吉野 徹【中堅】島田竜齊
【三将】松村一彦【副将】吉野優紀【大将】長里紗世子

予選リーグで大川少年剣友会・奈多剣道少年団と対戦。リーグ戦にて敗退。

◇第18回南区社会人親善剣道大会

平成18年11月23日(木・祝)南区体育館で開催されました。

年齢別個人戦には、北村先生・清水先生・島田先生・吉次先生・金城先生の5名が出場されました。受賞者は次の通りです。

【男性38歳～45歳の部】優勝 島田晃次先生
準優勝 清水恵一郎先生

団体戦

【先鋒】島田先生 【次鋒】北村先生 【中堅】清水先生
【副将】吉次先生 【大将】金城先生 の5名が出場されました。

1回戦で花畑剣道教室Aと対戦し、0勝1敗4引き分けで敗退しました。

◇第31回天神旗少年少女剣道大会

平成19年2月18日(日)筑紫台高校体育館で開催されました。

小学生団体戦

【先鋒】平松もも 【次鋒】堀 悠希 【中堅】小向得早紀
【副将】石村百梨 【大将】森 浩史

1回戦で太宰府振武会と対戦 1勝2敗2引き分けで敗退しました。

◇第1回天神杯少年少女剣道大会

中学生個人戦今年より天神旗の同日「天神杯」の大会名で開催され、
吉野優紀が出場し2回戦まで進みました。

◇第24回福岡市女子剣道交流大会

平成19年4月15日(日)福岡市民体育館で開催され、女子全員が参加しました。

個人戦

【小学生3～4年の部】 優勝 石村千夏

団体戦・中学生の部

【先鋒】石村百梨 【中堅】吉野優紀 【大将】小向得早紀

3回戦で敗退しました。

前日の準備、当日の会場係として吉野さん、石村さん、堀さん、長里さん、
小向得さんの5名のお母さん方がお手伝いに参加して下さいました。ありがとうございます。

◇第3回福岡市剣道交流大会

平成19年6月17日(日)福岡市民体育館で、開催されました。出場選手と
試合結果は、下記のとおりです。

小学生の部

【先鋒】石村千夏 【次鋒】吉野 徹 【中堅】白木英吉

【副将】島田竜齊 【大将】小河萌夏

1回戦 片江少年剣道部と対戦 2勝3引き分け

2回戦 福岡一信館Aと対戦 3敗2引き分け

一般の部

金城先生が剣交南B（60歳以上の部）に中堅で出場されました。

1回戦 早良区剣道連盟Bと対戦

2回戦 中央区剣道連盟と対戦 敗退

◇第32回福岡地区社会人親善剣道大会

平成19年6月24日(日)九電記念体育館で開催されました。

出場選手と試合結果は、下記のとおりです。

団体戦

【先鋒】友安先生 【次鋒】徳永先生 【中堅】北村先生

【副将】吉次先生 【大将】小町先生

1回戦 九州松下剣友会Aと対戦 敗退

個人戦

上記先生方が出場
吉次先生は3回戦まで進まれました。

◇第25回筑紫楯争奪少年剣道大会 主管花畑少年剣道教室

平成19年7月16日(祭・月)花畑小学校で開催されました。

【参加団体名】

花畑少年剣道教室・西高宮剣錬会・原北少年剣道教室

周船寺公民館少年剣道教室・宮竹少年剣道クラブ育成会 5団体

試合結果は下記のとおりです。

【小学生低学年の部】 5チーム中 優勝

【小学生高学年の部】 7チーム中 準優勝

【中学生の部】 8チーム中 7位

【総合の部】 5団体中 準優勝

昨年に引き続き好成績を残す事ができました。蒸し暑い中頑張った子ども達全員に、拍手を贈ります。また審判を引き受けて頂いた先生方、応援に駆けつけて下さった先生方、保護者の皆様のご協力有り難うございました。

☆お知らせ☆

太宰府剣竜会は、今回より会員の人数不足の為に脱会されました。この件につきましては何処も頭の痛いところです。今後は5団体で運営されます。次回は西高官剣錬会が主管です。



昨年周船寺に引っ越し、退会した前田和純君（現在小学4年生）が周船寺剣道教室の選手として元気に出場していました。1年ぶりでしょうか。

お母さんのお話によると、引っ越してすぐに剣道の稽古を再開したそうです。退会した会員が引っ越し先で元気に剣道をしているのを、とてもうれしく思いました。また次回の筑紫楯や他の大会で対戦することもあるでしょう。

前田君も宮竹の子ども達も所属する団体は異なりますが、お互いに稽古に励み、大きく成長してほしいですね。

◇第42回少年玉竜旗争奪少年剣道大会

平成19年8月4日(土) 九電記念体育館にて小学生・中学生女子

平成19年8月5日(日) 同所 中学生

出場選手と試合結果は下記の通りです。

中学生女子 監督 島田先生

【先鋒】堀 悠希 【中堅】石村百梨 【大将】吉野優紀

1回戦 輝翔館中等教育学校(筑後)と対戦 2敗1引き分け敗退

小学生 監督 島田先生

【先鋒】島田竜齊 【次鋒】石村千夏 【中堅】小河萌夏

【副将】大石将生 【大将】吉野 徹

1回戦 塚脇少年剣道クラブ(大分)と対戦 島田竜齊 5人抜き

2回戦 筑前町夜須剣道スポーツ少年団(筑後)と対戦 宮竹不戦2名

3回戦 桜丘スポーツ少年団剣道部(北九州)と対戦 相手大将不戦 敗退

※5人抜きした島田竜齊君には賞状と楯が贈られ、表彰されました。おめでとう。よく頑張りました。

中学生 監督 友安先生

【先鋒】小向得早紀 【次鋒】井手敏貴 【中堅】森 浩史

【副将】長里紗世子 【大将】佐々木大成

1回戦 花見錬成会(福岡)と対戦 相手大将不戦 敗退

行事報告

◇第36回宮竹校区体育祭

平成18年10月15日(日)宮竹小学校校庭で体育祭がありました。
午後の部、校区のスポーツクラブ紹介にて会員19名と指導部より松谷師範、友安先生が参加。プラカードは石村千夏さん、宮竹旗は長里紗世子さんが持ち、それに続き皆が堂々と行進をしました。

◇赤司六哉先生 喜寿お祝い会

平成18年11月5日(日)納言にて剣友会・育成会の保護者の皆さんの総勢36名の参加で喜寿のお祝い会を行いました。
合瀬藤雄先生のお祝いの言葉で始まり、記念品花束贈呈、乾杯、祝いめでたや万歳三唱・・・石村会長のお開きのあいさつまで終始和やかで楽しいお祝いの会となりました。

◇レクリエーション (ボーリング大会)

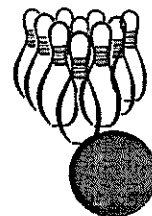
平成18年11月19日(日)雑餉隈フラワーボウルで行いました。
指導部より松谷師範・島田先生・友安先生の3名が参加して頂きました。
育成会は大隈相談役他15名の保護者・17名の小中学生が参加しました。
7チームで高得点を競いました。表彰は下記チームと個人に贈られました。

【団体戦】

優勝 友安チーム 友安先生・小向得(母)・森(母)・松村・島田(竜)
準優勝 松谷チーム 松谷先生・伊崎(父)・島田(母)・大石(将)・吉野(徹)
準優勝 小向得チーム 小向得(父)・白木・片山(母)・大石(勇)・伊崎

【個人】

	優勝	準優勝	3位
子ども	平松もも	小河萌夏	森 浩史
大人	白木(父)	小向得(父)	島田(母)



※団体戦優勝チーム全員と個人優勝(子どもの部)の平松ももさんに賞状と副賞の図書カードが渡されました。また個人優勝(大人の部)の白木君のお父様に賞状が渡されました。

※ボーリング大会の後、一品香にて昼食会を楽しみました。

指導部より島田先生・古賀先生・友安先生の3名が参加して頂きました。

◇宮竹少年剣道クラブ納会(保護者・指導部忘年会)

平成18年12月23日(土) 「五味焼」で忘年会を行いました。

指導部12名 保護者15名が参加し、和やかに歓談しました。

◇南区剣道連盟納会

平成18年12月24日(日)南区体育館で行われました。

指導部より松谷師範、島田先生、金城先生、石村会長、北村先生、友安先生の6名が参加されました。会員15名参加しました。

解散時に子ども達には、育成会より菓子が渡されました。お疲れ様でした。来年も頑張って稽古に励みましょう。

◇平成19年稽古初め 第57回宮竹少剣級別試合

平成19年1月7日(日)宮竹小学校体育館で行いました。

級別試合入賞者は下記の通りです。なお、各級の人数の都合で学年別に行われた部門もあります。ご了承ください。

【中学生の部】優勝	吉野優紀	準優勝	平松 岬
【6年生の部】優勝	小向得早紀	準優勝	松村一彦
【3級の部】優勝	島田竜齊	準優勝	吉野 徹
【5級の部】優勝	石村千夏	準優勝	片山 健

その後、恒例の鏡開きで朝からお母さん方に作って頂いたおいしい「ぜんざい」を頂きました。ご馳走さまでした。

❀お知らせ

◇北村先生 第一子誕生

平成18年10月17日(火)指導部の北村先生に第一子(女兒)が誕生し

ました。おめでとうございます。お名前は ^{まこ} 莓子ちゃん です。



◇新会員紹介

平成19年5月9日(水)入会

○植村 ^{うえむら} ^{はじめ} 基 君 (小5)

○植村 ^{うえむら} ^{あゆみ} 歩 さん (小4)

平成19年6月3日(日)入会

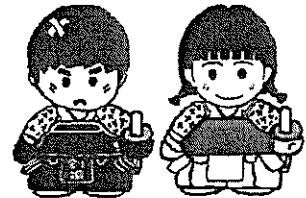
○池邊 ^{いけべ} ^{ゆうだい} 雄大 君 (小1)

○徳永 ^{とくなが} ^{あやか} 彩花 さん(小1)

◇会員の募集について

上記のように2人のかわいい鉢巻組さんが入会し、暑い夏も頑張っていますが、低学年の部の団体戦にも出場が危ぶまれる状態です。現在は次のような募集活動をしておりますが、他に効果のありそうな案や情報がありましたら役員へお知らせください。

- 1、平成18年宮竹校区体育祭
募集の横断幕を会員に持たせて行進。
- 2、剣道無料体験入会(4月・5月)チラシ配布
新学期・在校生対象 300枚
入学式・新一年生対象 100枚
校区回覧板 400枚
- 3、町内掲示板等ポスター掲示



◇定例会について

平成18年10月より平成19年8月までに、3回(10/8・2/4・7/15)の定例会を開きました。また、必要に応じて保護者会、役員会を開いて運営をしております。貴重なお時間を割いてお集まりいただいておりますので、実りある会にしたいと思っております。保護者の方も日ごろ疑問に思っている事や提案などがありましたら、遠慮なく発言をお願い致します。会員の子ども達が剣道を学びやすい環境、指導部の先生方が教えやすい環境を整えていきましょう。決定事項は随時報告しておりますので、省略をさせていただきます。

赤司 六哉 先生 ご逝去

平成19年3月10日【享年77歳】

ご冥福をお祈り申し上げます

赤司六哉先生が、平成19年3月10日に永眠されました。昨年11月には剣道クラブの先生方、保護者、有志相集い喜寿のお祝いをしたばかりの事でした。

合瀬先生との出会い、剣道との出会いを常に喜びとして剣道の修練に励まれ、教士七段を取得されました。子ども達への指導の折には勝ち負けばかりにこだわらず、大人になってからも続けられるきれいな剣道を目指すよう諭されました。優しく厳しく愛情深い指導は、多くの初段、二段の少年剣士を生み出しました。

3月11日の通夜、12日の葬儀には赤司六哉先生を偲び、現在の宮竹少剣関係者はもちろんの事、宮竹少剣から巣立ってりっぱに成人したOBやOBの保護者の姿も多くみられました。

まだ信じられない想いでいっぱいですが、感謝を申し上げご冥福をお祈り致します。

故 赤司六哉先生に育成会より感謝状贈呈

平成19年5月13日（日）平成19年度総会の日 故赤司六哉先生の奥様の順子様にご列席いただき、長年の功績に感謝し、育成会より感謝状と花束が贈られました。

合瀬先生より赤司先生の宮竹少剣との長い歴史の紹介があり、「自分が佐賀に行く折に後を託した師範の先生でした。その赤司先生の教えに報いるような剣士になって下さい。」と子ども達にお話しがありました。

また、奥様より「皆の元気に剣道をしている姿を主人も光に風になって見ていると思います。続けて頑張ってくださいね。」とお言葉を頂きました。

(※感謝状は平松前会長にお願いをして、作成をしていただきました。)



編集後記

第100号発刊にあたりご協力を頂きました皆様に、御礼を申し上げます。

今回はH18.10～H19.8の11カ月の出来事について記載いたしております。

諸事情により発行が遅れました事をお詫び申し上げます。

次頁にこの第100号の源となりました「宮竹少剣」第1号を掲載しております。